

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

N o . 5

2019年2月12日

日本鉄道労働組合連合会

J R 東 海 ユ ニ オ ン 第 3 3 回 定 期 中 央 委 員 会

ハートフルカンパニーの実現にむけた春闘方針を決定

J R 東海ユニオンは2月7日、京都市内で第33回定期中央委員会を開催し、昨年策定した新たな中期目標「UNION FUTURE⇒2027」で掲げた3つのアクション（安全の確立・組織の活性化・ハートフルカンパニーの実現）に基づく当面の活動方針を満場一致で決定した。

執行部を代表して挨拶にたった鎌田茂中央執行委員長（J R 連合副会長）は、「UNION FUTURE⇒2027」実現にむけた第27回定期大会以降の活動を振り返ったうえで、「みんなでアクション」を全機関・全組合員が実践することで、ハートフルカンパニーの実現に繋げていこうと呼びかけた。また、3つのアクションを実践するにあたっては健全で強固な労使関係が大前提であるとして、「将来宣言」を基軸に、労使関係の強化に努めるとともに、次世代へと着実に継承していく必要性を訴えた。そのうえで、当面の重点課題として、「安全の確立」「ハートフルカンパニーをめざした2019春闘勝利」「組織の活性化」「ハートフルカンパニービジョンの実現」「第25回参議院議員選挙・統一地方自治体選挙」の5点について所信を述べ、委員各位の活発な討議による活動方針の補強を要請した。また、委員会には、第25回参議院議員選挙に立候補予定の石上俊雄参議院議員と田村まみ候補が出席し連帯と激励の挨拶を行った。J R 連合からは、北村公次労働政策部長が出席した。

質疑では、20人の中央委員から、安全の確立、2019春闘、組織課題、中央新幹線建設や新幹線車掌乗込基準などの業務課題、ユース活動の在り方、男女平等参画推進など多岐にわたる発言があり、担当執行委員答弁、尾形泰二郎書記長の総括答弁を経て、全議案が満場一致で採択された。その後、委員会宣言を採択し、最後に鎌田委員長の団結ガンバローで閉会した。

また、委員会では組合員から募集していた「UNION FUTURE⇒2027」のロゴが披露され、今後各級機関で活用し浸透を図ることを確認した。

以上